

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月23日(木)

事務事業		車両管理事業		担当課	総務防災課	担当係	庁舎管理係	管理番号	2902	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり		根拠法令 個別計画等	道路交通法、深谷市自動車管理規程				
	小項目	3	行財政運営の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		・共用車（32台）の管理を行い、日常点検及び定期点検、また車両修繕等を行うことで事故防止を目指すものである。								
目的 ※何のために		市民及び職員の安全確保のため								
対象 ※誰・何を対象に		共用車 32台（一般用車両 26台、塵芥車 1台、緊急用車両 5台）								
手段 ※どのように		・車両の定期点検等 ・バス借上げ業務 ・安全運転管理者にかかる事務								
成果 ※何を求めるか		適切な車両管理及びバス借上げ業務を行う。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	車両管理事務費	3,788,077
本事業の 主な業務		・共用車両の維持管理							・	
		・安全運転管理者に関する事務の対応							・	
		・バス借上げ業務							・	
		・共用車両の貸出管理							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画				市事業におけるバス運行委託業務の開始	共用車両の増加 新庁舎への移転	共用車両の管理	
事業費	予算（現額）	4,723,000	5,551,000	16,026,000	6,283,000	6,314,000	4,953,000
	決算額	4,161,098	4,827,219	11,874,103	3,548,791	3,788,077	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	212,187	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	4,161,098	4,827,219	11,874,103	3,548,791	3,575,890	4,953,000
人件費	従事職員数（人）	1.84	1.89	1.19	1.21	1.26	1.40
	人件費相当試算※	14,313,360	14,707,980	9,354,590	9,844,560	9,780,013	11,383,887
総事業費試算		18,474,458	19,535,199	21,228,693	13,393,351	13,568,090	16,336,887

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	バスの借上げ件数	目標値	件	0	0	105	141	140	0	
		実績値	0	0	127	6	9	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		各課にて事前に確認した運行予定件数を目標値としている。/バスを借上げた事業数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	正・副安全運転管理者研修会への参加	目標値	人	8	8	9	9	7	0	
		実績値	8	8	9	9	7	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		正・副安全運転管理者全員の受講を目標値としている。 / 研修会参加者数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	業務に支障をきたしたトラブルの件数	目標値	件							
		実績値	0	1	1	0	0	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		トラブルを発生させないことが適正なため、目標値は0件としている。 / トラブルの発生した実績							
	実績値の算出式									
成果指標 2	共用車稼働率	目標値	%							
		実績値	58.28	96.59	73.28	88	57	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		共用車の利用は、各課の業務状況に応じて変動するため、目標設定は行わない。 / 公開羅針盤内の予約日数							
	実績値の算出式									
成果指標 3	共用車台数総務防災課管理の共用の台数	目標値	台							
		実績値	11	13	14	13	32	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		共用車台数は、庁内の車両の利用状況に基づき配車されるため、目標設定は行わない。							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	・市の事業でのバス借上げについては、新型コロナウイルス感染症の影響が継続していたため、引き続き運行数は減少していたものの、運行を実施した事業においては、安全で効率的な運行が図れた。 ・今年度の安全運転管理者等法定講習においては、正副安全運転管理者となっている全員が参加することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	・全ての共用車において、法律等に基づいた法定点検等を行い、車両運行に支障なく適正な管理を行うことができた。 ・市事業におけるバス借上げの運行や業務における共用車の運行について、業務に支障を及ぼすような重大なトラブルの発生はなかった。
			評価者 庁舎管理係長 小山 明仁

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	・バスの借り上げについては、効率的な運行を行った実績に基づき、当初の契約額から減額となった契約が3件あった。 ・共用車については、法律などに基づいた点検や検査のほか、日常点検を行うことで、不必要な修繕を行うことなく適正な管理が図れた。
			評価者 庁舎管理係長 小山 明仁

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	<ul style="list-style-type: none">・財政面で厳しい状況が続くが、引き続き経済的かつ安全な公用車走行の励行を促し、事務の効率性を高める。・バスの効率的かつ経済的な借上げ方法を検討していく必要がある。
達成状況及び その効果	<ul style="list-style-type: none">・共用車については、昨年度の台数から2.5倍ほど台数が増えた中で、法律に基づく点検や検査を行いつつ、運転前に日常点検を行うことで、業務に支障をきたすような重大なトラブルもなく車両運行が行えた。・バス運行借上げにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響のため、必要最小限での事業の中で、効率的な行程を行った実績により、当初の契約額から減額が行えた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	車両管理事業	担当課	総務防災課	担当係	庁舎管理係	管理番号	2902
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 総務防災課長 菅原 孝一					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度より運転前と後のアルコールチェックが義務化となるため、公用車の運転に対し、さらなる安全運転への啓発を行う。・財政的に厳しい状況が続く中で、コスト面を勘案しつつ安全な公用車の走行を促し、一層の事務効率性を高める。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	<ul style="list-style-type: none">・公用車の集約化がより一層図られた場合に備え、業務上、必要な時に必要な車両が使用できるよう、管理方法を見直す必要がある。

8. 評価指標グラフ

